

マーメイド通信

逗子市立図書館報
第86号
2012年5月1日発行
逗子市立図書館
逗子市逗子4-2-10
046(871)5998
〔電話案内サービス〕

新年度を迎えて1か月。新生活を始められた皆さんは、学校や職場に慣れてきた頃でしょうか？
逗子市立図書館も、4月に新しい職員が加わり、一同フレッシュな気持ちで働いています。

今号では、初心に戻り、小川俊彦館長に図書館のあれこれをインタビューしてみました。小川館長は、千葉県市川市立図書館長、長崎市立図書館でも開館準備にあたってきた、経験豊富な方です。とてもこの誌面には載せきれないほどの、内容の濃いインタビューとなりました。全てお伝えできないことが残念ですが、館長のお話のエッセンスをお伝えできたら・・・と思います。

小川俊彦館長にインタビュー！



図書館のあるべき姿についてうかがいます。

館長：図書館というものは、100あれば100の個性があってよいものだと思います。また、図書館の仕事は、一般的には、法律に基づいて処理していくという仕事ではありません。どういうサービスを行っていくかを、図書館自身が考えて提供していく仕事です。図書館は、今、目の前にいる利用者の希望に応じていくことも大切ですが、将来の利用者に対してもきちんとした配慮を行っていくことが求められています。知りたい時、困った時、まず図書館に行ってみようと思える図書館にしたいと願っています。

書店と図書館の大きな違いはどこでしょうか？



館長：端的にいうと、過去の本を保存している、売れ行きとは関係なく必要と思われるものを集めている、相談（レファレンス）に応じてくれる職員がいるということです。

疑問や質問をインターネットで簡単に調べられる昨今、本を使った調べものをどう思われますか？

館長：インターネットは新しい情報をスピーディーに入手できる反面、チェック機能が甘いため、正確さに欠ける情報もたくさんあります。これに対して書籍は、基本的には出版社の依頼によって執筆され、編集されますので、内容的には信頼度の高い情報といえます。調べものをする時はネットと書籍とを上手に使いわけることが必要です。



小学生の頃からの、「調べ学習」（本を使った調べもの）の必要性についてどう思われますか？

館長：最近では小学校低学年でも授業の時間が多くなり、学校側としてもじっくりと本と向き合い、時間をかけて調べるという「調べ学習」ばかりに時間をとられるわけにはいかなくなっているようです。しかし、自分で調べるということは、自分でものごとを考えることにつながり、頭の中に浮かんだことを文章にしていくということによって考える力を養ってくれます。また年をとってからも、じっくり調べるという楽しみを持つ能力につながっていくので、図書館としても手をこまねいてばかりはいられません。



本を読むという能力も、字が読めない頃は字の無い絵本からはじまり、次にさし絵を見ながら文を読むようになり、最終的には想像の翼を広げながら文章のみで楽しむことができるようになります。

調べる楽しみというのもこれと同じで、小さい頃から段階を踏んで訓練していくことが必要なのです。

実際に今、図書館がおこなっている学校支援サービス「学校支援パック」とは、どのようなものですか？

館長：逗子市立図書館が市内公立小中学校の学校図書館との連携を深め、支援する目的のために、調べ学習に役立つ本や図鑑類、物語の本をパックにして貸し出しを行うものですが、これにより、子どもたちに対して、もし何か調べたかったら、調べるツールは図書館にどっさりあるよ、というメッセージを発信しています。

館長おすすめの本



「図書館に訊け！」015 イ

井上真琴著 ちくま新書

大学図書館に勤務する図書館のエキスパートが、「図書館利用テクニック」の基本から奥の手までをやさしく伝授してくれる図書館愛好家必読の1冊。

「えほんのせかいこどものせかい」019 マ

松岡享子著 日本エディタースクール出版部

『幼児の時代は、絵でものを考える時代です。だから、絵本が必要になってくるのです。』と伝えています。1987年の出版ですが、「ぐりとぐら」や「おおきなかぶ」が半世紀近くも子どもたちに喜ばれてきたように、絵本の持つ役わり、大切さが全く変わっていないことを、この本は教えてくれます。



YA通信



～しらべる～ ③参考図書に親しむ



YA通信は84号で辞書、85号で百科事典を特集してきましたが、図書館にある参考図書には、辞書や百科事典のほかにも、様々な事典、図鑑、統計資料、いろいろな地図、新聞の縮刷版や雑誌のバックナンバーなどがあります。今回はこうした参考図書についてまとめて紹介しましょう。



「ひと目でわかる方言大辞典 －方言で感じる地方の個性－」

方言の基礎知識、共通語で引く50音順方言辞典など豊かな方言の世界を紹介しています。

辞典？事典？

辞典とは言葉の意味そのものを説明する書物のこと。事典はことからの説明をする書物をいいます。ふたつを使い分けるために、辞典を「ことばてん」、事典を「ことてん」と呼ぶこともあります。事典の代表といえば百科事典ですね。



統計資料

「日本国勢図会 －日本がわかるデータブック－2011/12」

日本の社会・経済情勢を表とグラフでわかりやすく解説したデータブック。

「理科年表 第85冊(平成24年)」

1925年創刊以来の歴史と伝統を持つ世界的にもユニークな科学の全分野を網羅したデータブック。

404頁『理科年表Q&A』
解説本もオススメ

事典

「367日誕生日大事典

－データブック・同じ日生まれの有名人」

誕生日が判明している古代から現代までの3万人分のデータを収録、小説や漫画の登場人物もあり。



「アニメ作品事典－解説・原作データ付き－」

1917年～2010年4月まで、日本国内で公開・放送・発売されたアニメ6400本の基本情報を集大成、巻末に公開年順索引・原作者名索引付き

「シャーロック・ホームズ大百科事典」



登場人物や事件・土地・動植物・犯罪用語等までを詳細に解説した究極の百科。ファン必携。

地図

「世界史アトラス」

世界の歴史を400点以上の歴史地図と解説・コラムでたどる。

「世界の地図の歴史図鑑 －ビジュアル版 岩に刻まれた地図からデジタルマップまで－」

時代背景を映し出す地図の歴史や製作の技術を多数の図版とともに解説。



じどうしつだより

4月23日に子ども読書の日記念公演として、逗子文化プラザで「影ぼっこ」の影絵(原作『泣いた赤おに』浜田廣介著)が上演されました。

☆影絵はどのようにしてできるのでしょうか。

まず、物語に合わせた下絵をかきます。次にその下絵をうつつした紺色の画用紙をカッターナイフで、ていねいに切り抜いていきます。絵がすべてできたら語りを入れ、音楽を選びます。最後に、何度もリハーサルをして、やっと10~15分の1作品ができあがります。

☆「影ぼっこ」のメンバーに聞いてみました!

Q:上演する作品はどのように決めているのですか。

A:見た人たちの心に残るものを作りたいと思っています。

メンバーで好きな作品を持ちよって、相談しながら決めています。

Q:今まで上演していて感動したことはどんなことですか。

A:子どもたちの反応です。大人と違った感じかたで、受け取り方もいろいろなので、毎回新しい発見があります。見た子たちが大人になっても覚えていてくれることなどから、子どものときに見たものや読んだ本の大切さを感じます。

「Hand shadows -
影絵動物園」777ム
ムジカ制作 あすなろ書房
手で作る動物の影絵の本です。
図書館の書庫にあります。

図書館名画座のご案内

【場所】逗子文化プラザ1階 さざなみホール 【開場】13:30 【開映】14:00

◆入場無料 当日直接会場へお越しください ◆当日先着100人まで

5月22日(火)の上映作品

『アパッチ砦』【字幕つき】

音声:英語

1948年 アメリカ作品

ジョン・フォード監督

6月26日(火)の上映作品

『クリーン』【字幕つき】

音声:英語・フランス語他

2004年 イギリス・フランス他作品

オリヴィエ・アサイヤス監督